

素材としてのSDGsへの貢献

木質ボードにおける取組み例:

- 有害物質を排除した原料チップを使用 **3**
- 生産における資源効率改善(水・原料) **6 11**
- バイオマスボイラーの利用。エネルギー使用量を把握し削減に取り組む **7**
- 使用化学物質を把握し環境負荷の低減に取り組んでいる **11**
- リサイクル木材の高度有効利用、未利用木材の活用 **12 15**
- 木材のマテリアルリサイクルによる炭素固定期間の長期化 **13**
- 国産材、地域産材、間伐材活用による水源林の保全 **14**
- グリーン調達にかなう資材提供。産官学やサプライチェーンとの連携 **17**



用途展開によるSDGsへの貢献

 <p>耐力面材 P・M・I 11 持続性があり強靱な建造物の設計 災害に強い住宅の提供</p>	 <p>養生板 H・I 12 再生資源および 持続可能性素材の利用</p>
 <p>断熱材 I 7 13 高断熱住宅でエネルギー低減 地域材ブランドへの対応</p>	 <p>建材畳床 I 12 再生資源および 持続可能性素材の利用</p>
 <p>フローリング基材 P・H・M 13 15 国産材有効利用により 国内植林の促進に貢献</p>	 <p>二重床 P 12 再生資源および 持続可能性素材の利用</p>
 <p>家具・木工・住設機器 P・H・M 12 15 再生資源および 持続可能性基材の利用 国産材有効利用により 国内植林の促進に貢献</p>	 <p>梱包用保護材 H 12 再生資源および 持続可能性素材の利用</p>

P:パーティクルボード H:ハードボード M:MDF I:インシュレーションボード・ファイバーマット・ファイバーボード

会員会社

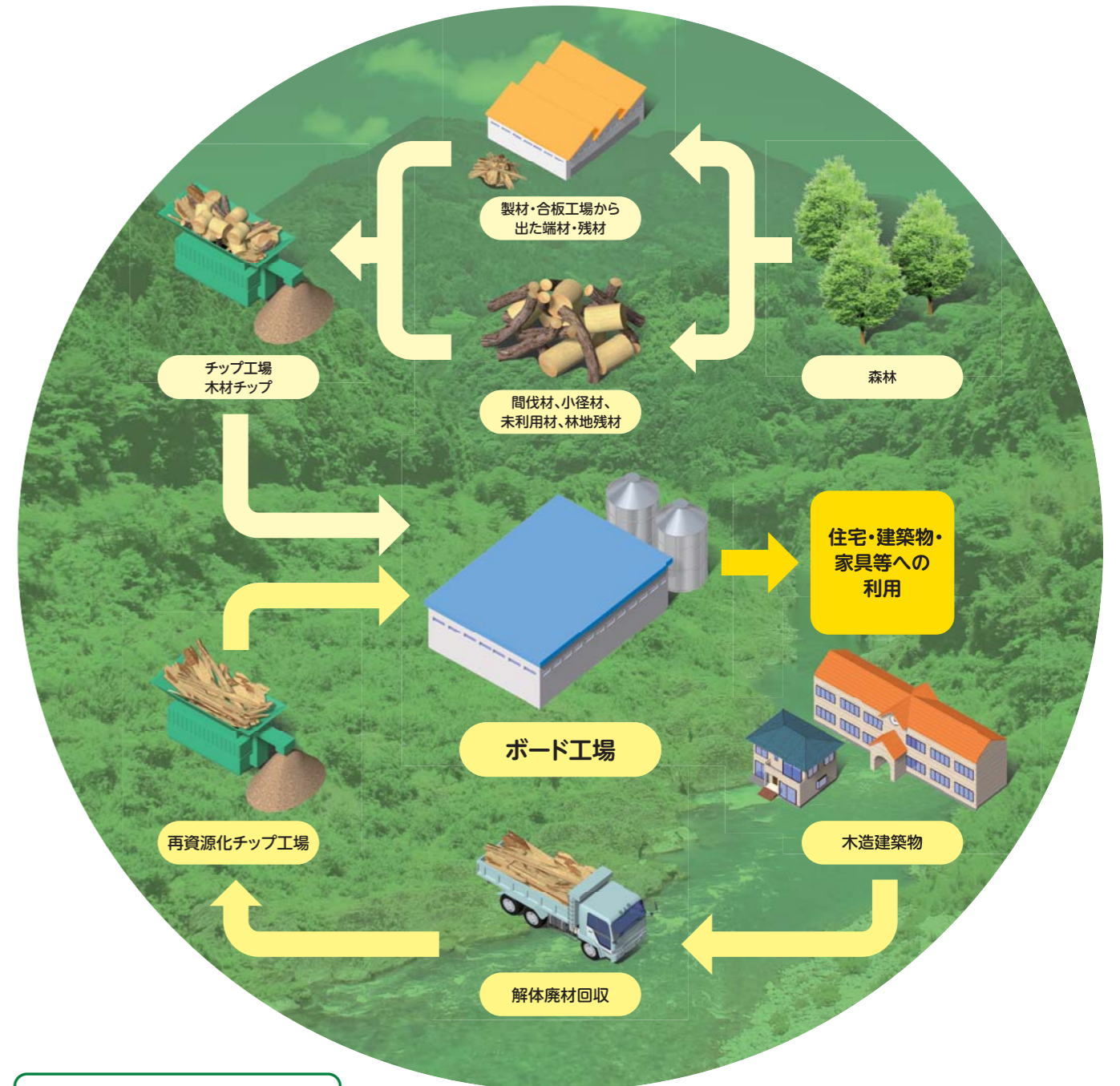
- | | | |
|------------------|------------------|-----------------------|
| 株式会社イワクラ(P) | 大倉工業株式会社(P) | ニチハ株式会社(H) |
| ウッドファイバー株式会社(I) | 新秋木工業株式会社(P・H・I) | 日鉄テックスエンジニアリング株式会社(P) |
| 永大小名浜株式会社(P) | 住友林業株式会社(M) | 日本ノボパン工業株式会社(P) |
| 永大産業株式会社(P) | 大建工業株式会社(I・M) | 株式会社ノダ(M) |
| エヌ・アンド・イー株式会社(M) | 東京ボード工業株式会社(P) | ホクシン株式会社(M) |



日本繊維板工業会

〒103-0027 東京都中央区日本橋2-12-9 日本橋グレイスビル5階
Tel 03-3271-6883 Fax 03-3271-6884 URL:https://www.jfpm.jp

繊維板・パーティクルボードで持続可能な循環型社会を



木質ボードの炭素固定量 **50万トン/年** ≒ 森林6100ha中の炭素蓄積量

... 40年生スギ人工林1haの炭素蓄積量 約82トン
(出典:林野庁HP「森林はどのぐらいの量の二酸化炭素を吸収しているの?」)

2019年の国内生産木質ボード中の炭素固定量は約50万トン。これは山手線内側の広さ(63km)とほぼ同面積の森林に蓄積された炭素量に相当します。私たち工業会の過去60年余にわたる活動は、都市に再び炭素を貯蔵していることとなります。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



日本繊維板工業会

日本繊維板工業会は2000年に「環境宣言」を制定、着実に実行してきました

— この理念や取組みは、SDGsの各ゴールに関連しています —



資源循環型産業

6 7 11 12 15

木材資源のマテリアル利用
優先社会の実現

- 木材資源の有効利用
- 廃棄物の再資源化
- エネルギーの有効利用
- 水資源の有効利用



人と自然との共生

3 6 12 13 14 15

安心・安全な商品を提供し、
豊かで住み良い社会作りに貢献

- (室内環境) 化学物質対策
- (地域環境) 廃棄物の減量化
- (地球環境) 大気環境、水環境の保全

日本繊維板工業会 環境宣言

基本理念



環境問題への取組み

13 17

全ての環境対策に
積極的・自主的に取組む

- 工業会会員企業で構成する
環境委員会の設置
- 環境関連情報の積極的開示

環境宣言の各取組み項目に掲載した
11などの番号は、取組み内容に関する
SDGsのゴールNo.を示しています

- 3 人々に保健と福祉を
- 6 安全な水とトイレを世界中に
- 7 エネルギーをみんなに、そしてクリーンに
- 11 住み続けられるまちづくりを
- 12 つくる責任つかう責任
- 13 気候変動に具体的な対策を
- 14 海の豊かさを守ろう
- 15 陸の豊かさを守ろう
- 17 パートナリシップで目標を達成しよう

主な環境管理行動指針(2000年制定)

環境配慮…工場から発生する空気質及び排水の汚染防止策の徹底、諸原材料の有効利用、省エネルギーに
取り組み、廃棄物の減量化やグリーン購入に努めます。

主な環境自主管理基準(2000年制定)

- 二酸化炭素排出量削減
- 化学物質対策・ホルムアルデヒド排出量の低減
- 廃棄物の減量化(廃棄物総排出量)
- 建設解体廃木材の利用
- 使用化学物質のSDSによる安全性管理

環境課題に対する社会の主な動き

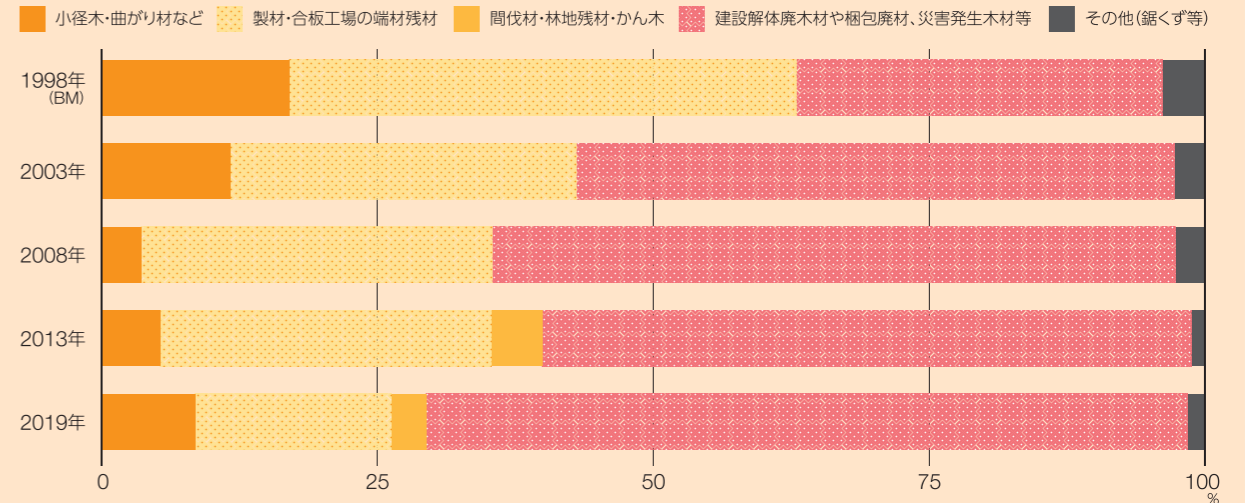
- 1999年 PRTR法公布(報告は2002年から)
- 2000年 建設リサイクル法公布
- 2001年 グリーン購入法施行
- 2003年 建築基準法によるホルムアルデヒド規制
- 2015年 国連総会でSDGs採択



木を燃やさずリサイクルすることでCO₂削減に寄与しています

● 木材資源の有効利用 ● 廃棄物の再資源化

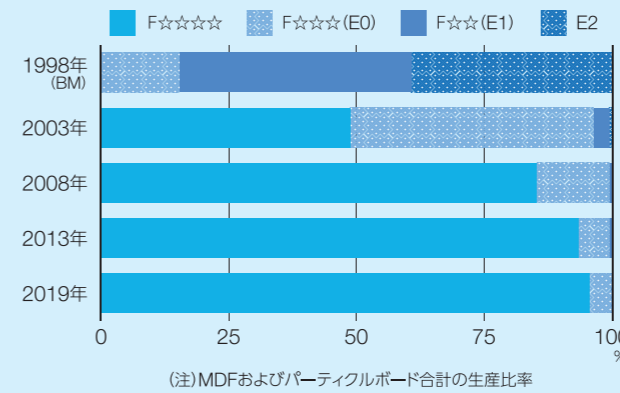
木質ボード全体での原料割合の推移



安全安心な製品づくりで社会に貢献します

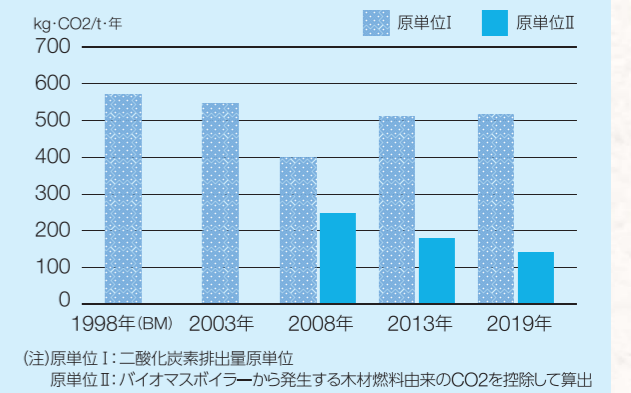
● (室内環境) 化学物質対策

ホルムアルデヒド放散量区分による生産比率

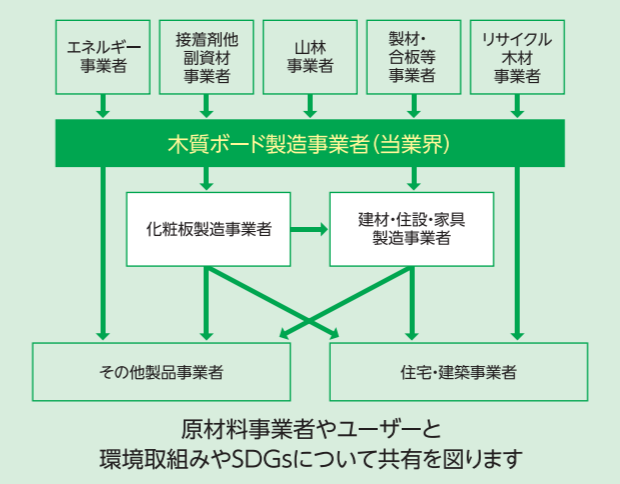


● (地球環境) 大気環境の保全

二酸化炭素排出量原単位の推移



環境問題に取り組み、 パートナーシップを大切にします。



有馬孝禮(東京大学名誉教授)

森林において太陽エネルギーにより二酸化炭素と水が変換されて育った木材には、炭素が固定(貯蔵)されています。この木材が木造住宅などに使われると、都市に炭素が貯蔵されたこととなります。

繊維板やパーティクルボードには、この都市に蓄えられた炭素資源が再び炭素貯蔵されています。このような流れを「カスケード利用」と呼んでいます。貯蔵期間を長くすることは森林成長に時間的なゆとりを与えます。炭素貯蔵の役割を終えた後は燃料エネルギー(サーマル利用)になります。